■第16回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会 開催要項_訂正版

１　会　期　2027年3月13日（土）　～　14日（日）
２　会　場　北見若松市民スキー場
　　〒090-0808　北海道北見市若松651番地1　℡0157-22-2910
３　主　催　公益財団法人北海道スキー・スノーボード連盟
４　運　営　北見市スキー連盟、北見地区スキー・スノーボード連盟
５　協　力　若松市民スキー場・北見スキー学校
６　目　的　北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会予選会の入賞者が一堂に会し、質の高い競技を通して本道ジュニアスキーヤーの技能向上・普及振興を図る。
７　日　程　（予定）

3月13日（土）※開会式は実施しません。

7:30	公式掲示 ①大会専用ウェブサイト ②競技本部前
8:00 ～ 10:00	受付
9:30 ～ 11:30	デモクリニック（ビブ着用必須）
12:15	選手インスペクション（コーチ・応援者可）
12:45	選手点呼（スタート地点集合）
13:00 ～	競技開始（１種目）
16:00	第１日目　成績仮発表

3月14日（日）

7:45	公式掲示（3月14日と同じ場所）
8:00	リフト運行 ※大会使用コートは、選手インスペクション開始の時間まで入ることはできません。
8:45	選手インスペクション（コーチ・応援者可）
9:15	選手点呼（スタート地点集合）
9:30 ～	競技開始（２種目）
15:00	成績仮発表（公表30分後、公式記録とします。）
15:30	成績発表・公式記録
16:00	表彰式（予定）

８　参加資格
・予選会各組６位入賞者（但し予選会各組当日出場者数が20名以上は８位、30名以上は12位までとします）。
・ＳＡＪスキー補償制度又はこれに準ずるスポーツ傷害賠償保険に加入している者。
・保護者の承認を得た者。
・やむを得ぬ事情により予選会が中止となった場合の決勝大会参加資格は、他の予選会場に出場して上位入賞することを原則としますが、状況により教育本部が決定する場合があります。なお、変更事項については、速やかにホームページ等で通知します。
９　参加料　　１０，０００円
申込後のキャンセル及び会期中において天候不良等により競技不可となった場合の返金は行いません。

10　申込方法

エントリープラスでの申込みとします。

（１）エントリープラスでの申込み方法

①エントリープラスウェブサイトにて個人登録をお願いします（登録済みの方は次へ）。
https://entryplus.jp/index.html

②エントリープラスウェブサイトにて、（公財）北海道スキー・スノーボード連盟よりお申し込みください。

③参加料のほかにエントリープラス利用料・決済手数料が別途発生します。

（２）申込期間　　2027年1月18日（月）～2027年2月18日（木）

参加料が期日までに決済（納入）されていない場合は、エントリーが完了しないため注意してください。

（３）申込手順で不明な点がございましたら、下記へ連絡して下さい。

エントリープラス　お問い合わせ先　https://entryplus.jp/contact.html

11　個人情報の取り扱い

（１）参加申込で取得した個人情報は、大会運営に関わる事項のみに使用し、目的外使用をすることはありません。

（２）データは電算システムで一括管理しますので、氏名の加工など個別の対応はできませんのでご了承ください。

（３）氏名、所属などの情報は、プログラムに掲載するとともに、リザルトを北海道スキー・スノーボード連盟ウェブサイトに掲示します。

12　競技種目及びカテゴリー

（１）競技種目

①フリー（中急斜面／整地）
②大回り（中急斜面／整地）
③小回り（中急斜面／整地）

（２）カテゴリー（部門）

①ジュニア（小学生）の部　男女別
②ジュニアユース（中学生）の部　男女別
③ユース（高校生）の部　男女別

13　順位の決定及び表彰

（１）順位の決定は総合成績とし、全種目の合計得点で決定します。悪天候等により全種目が実施できない場合は組織委員会にて判断致します。

（２）同順位の扱いは、フリー→小回り→大回りの順で得点が高い者を上位とします。それでも決定しない場合は同順位とします。

（３）表彰はカテゴリー（部門）毎に行います。

①ジュニア（小学生）の部：男女別１位～１０位
②ジュニアユース（中学生）の部：男女別１位～１０位
③ユース（高校生）の部：男女別１位～１０位

14　競技規則

＜用品用具の使用について＞

（１）着用するウェアは全日本スキー技術選手権大会競技規則に準じ、市販品でルーズフィットなものとし、レーシングスーツ（ワンピース・ツーピース）の着用は認めません。

（２）競技中は頭部を保護するため、すべての競技種目において必ずヘルメットを着用して下さい。ヘルメットの加工や突起物を取り付けることは禁止とします。また、競

技中はイヤホンの装着を禁止とします。
（３）スキーの使用台数に制限はありません。
（４）環境破壊や健康被害防止の観点から、フッ素成分を含むワックスの使用を禁止します。

＜得点について＞
（１）得点は、１審判員１００点満点とし減点法によります。
（２）得点は５審３採用とし、最高点と最低点をカットし、３審の配点の合計点を種目得点とします。
（３）得点は公開表示します。
（４）減点について
①競技斜面の３分の１以上を転倒により滑走を行わなかった場合は、１審当たり一律６５点とします。（採点不能として扱う。）
②フィニッシュラインを身体のみが通過した場合、転倒前の演技の得点から、大転倒を参考に減点します。
③選手の転倒により、用具の離脱が原因で進行に支障が出ると判断した場合、競技役員の補助を受けることができ、フィニッシュラインの手前であればその位置から再スタートができます。
④大転倒、中転倒、規制違反の場合は、審判長により何点減点するかを審判員に指示します。
⑤フィニッシュラインとは競技コートの下方に設けられた旗門と旗門の内側を結ぶラインを言い、旗門の内側と旗門の外側の間（フラッグの下）を通過した場合は、大転倒として減点します。

＜インスペクションについて＞
（１）インスペクション等でコート内に入る場合は、必ずビブを外側に着用して下さい。
（２）各班・各種目ごとにインスペクションを兼ねてコース整備を行います。
※詳細は、プログラム等に掲載されるローテーション表をご確認下さい。
（３）コーチ・応援者についてもインスペクション（コート整備）への参加を認めます。

＜スタートの要領について＞
（１）選手は、各種目ともスタート地点に２０分前に集合し点呼を受け、応答しなければなりません。
（２）選手は前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち、出発のための準備を整えて下さい。正当な理由なく準備ができない場合には、当該種目を棄権とします。
（３）選手はスタート審判の出発合図により出発して下さい。正当な理由なく直ちに出発しない場合は、当該種目を棄権とします。
（４）スタートは、スキーの一部がスタートポール内側を結ぶライン上に接した状態で、ブーツがそのラインを越えない位置から行って下さい。

＜演技の中断について＞
（１）演技を中断した場合は、その位置で体制を整えて再スタートして下さい。中断が長引く場合は、競技役員の指示に従って下さい。
（２）やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を競技役員に告げ、速やかにコート外に移動して下さい。この場合は、当該種目の得点は０点となりますが、次の種目からの出場権は維持されます。

＜フィニッシュの要領について＞
（１）フィニッシュは、競技コートの下方に設けられた旗門と旗門の内側を結ぶラインの通過をもって演技終了とします。本大会においては、両スキーが外れても身体がフ

ィニッシュラインを通過することで演技終了とみなします。
（２）フィニッシュライン通過後はスピードコントロールし、完全停止をして下さい。
＜抗議について＞
（１）抗議事項が発生した場合は、当該種目の審判長またはゴールエリア付近の競技役員に「抗議・問い合わせ用紙」を使用して申し出ることが出来ます。抗議の受付は、当該種目競技終了後５分以内とします。「抗議・問い合わせ用紙」は各コートの審判団テントに用意します。
＜その他＞
（１）ビブの付番は、コンピュータードローにより決定します。なお、ビブ決定後、エントリーリストを大会専用ウェブサイトで公開します。
（２）選手は各種目演技終了後、速やかに次の種目のコートへ移動し、スタート地点にて点呼を受け、競技開始に備えて下さい。
（３）スキー用具等は自己管理の徹底をお願い致します。なお、競技中は一般のお客様の迷惑になりますので、指定された場所以外にはスキーや荷物を置かないようにして下さい。
＜コーチ・保護者の皆さんへ＞
（１）スキー場内は禁煙となっておりますのでご協力をお願い致します。
（２）本大会は将来のスキー界を担うジュニア選手の育成を目的としており、北海道スキー連盟として教育の一環という位置付けをしておりますので、競技規則を遵守し競技に臨むよう選手への周知・指導をお願い申し上げます。

15　その他注意事項
（１）組織委員会において、日程・種目、運営全般に関わる事項の変更が生じた場合は、場内放送、大会専用ウェブサイト及び公式掲示にて告知致します。
（２）コート及びその周辺の雪が少なく危険なとき、コートの整備が不良なとき、危険個所の安全対策が不備なとき、観客に対する安全対策が不備なとき、競技者に危険をもたらす気象の変化が生じたときなどについては、ジュリー会議で協議し、競技の中止・中断を決定します。
（３）中止・中断の場合の競技成績は、同日に競技終了の場合のみを有効とし、競技途中の場合、中止・中断前の成績は無効とします。
（４）新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症については、各自で感染対策に留意した上で参加して下さい。

16　出場選手の画像や映像等の配信について
スキー技術選手権大会共通事項として別途定めましたので、「大会の出場選手の画像や映像等の配信について」を参照してください。

17　問合せ先】　※連絡先は、エントリープラスの要項に記載します。
スキー技術選運営部　　部　長　東山浩史
副部長　住吉俊彦（ジュニア委員会委員長）